奈良市民だより
No. 427

奈良市民憲章

奈良は日本のふるさと。美しい自然とすぐれた文化遺産を守り、古都に住むものにふさわしい自覚と誇りに生きましょう。

奈良は未来をひらくまち。青少年は健康で、はつらつと、正しく強い人間になりましょう。

奈良は善意のまち。みんなのしあわせのために、おたがいに助けあいましょう。

奈良は清潔で平和なまち。旅行者にはあたたかく親切に接しましょう。

奈良はのびゆくまち。市民の創意で、伝統と調和のとれた新しい住みよいまちづくりをしましょう。

市民のうごき

10月1日現在(前月比増)

人口	288,808人	(453)
男	140,278	(231)
女	148,530	(222)
世帯数	91,544	(92)

『さらに200万本達成へ』

植樹100万本、4年縮めて達成

植樹百万本の早期達成を喜び黒谷公園に梅の苗木を植える市民

盛大に 記念植樹祭

黒谷公園を梅の名所に

森の中に奈良のまちがあるようにしようと、四十九年から十年計画で進めていた植樹百万本運動が着々と実を結び、計画期間を四年も早めて完遂したのを記念して、植樹百万本達成記念植樹祭が十月二十一日、市内富雄中町の黒谷公園で行なわれました。

同運動は十年間に百万本の植樹をする計画であったが、成人式や福祉大会など市の数数の行事の参加者に苗木を贈るのをはじめ家の新築、赤ちゃんの誕生には記念の苗木を贈呈するなど、キメ細かな緑化施策を進めてきたもので、予定を大きく短縮して十月上旬に百万本を達成しました。

植樹祭には鍵田市長、坂本市議会副議長はじめ市民各界代表、老若男女千三百人が参加しました。植樹に先立って鍵田市長は「現在奈良公園に立派な木があるのは、幕末の奈良奉行川路聖謨のお陰である。その意志を継いで緑を子孫に伝えるための百万本植樹で、これが完遂したので川路聖謨の碑に参拝してきた。さらに今後は二百万本を目指し〝為せば成る〟の気概で奈良を緑の中にまちがあるようにしたい」とあいさつ。

このあと参加者全員がいっせいに手に手にクワやスコップを持って紅梅百本、白梅七百五十本の計八百五十本を植えました。同公園は将来梅の名所に育てる計画で、さきに百五十本の苗木が植えられており、この日で千本植えつけたことになります。

この黒谷公園のほか中ノ川埋立地を梅の名所に、また柏木運動公園と鴻ノ池運動公園を桜の名所にしようとするもので、中ノ川埋立地(二万五千平方㍍)には淋種(紅梅)二百本、白加賀(白梅)千三百本を植えます。柏木運動公園(四万二千平方㍍)には八重桜、染井吉野、しだれ桜、山桜、大島桜の苗木八百五十本を点植。さらに鴻ノ池運動公園には、中央体育館前の池畔に柏木運動公園と同様五種類の桜の苗木千二百本を植えることになっています。

こうして梅と桜の名所づくりをすすめ、市民が心から憩える場に仕上げ、新しい奈良市の名所にします。

先頭に立って植樹する鍵田市長

「まちを緑の中に」と 植樹意欲旺盛

植林1,000町歩も

四十九年に植樹百万本計画を策定以来、奈良の緑は着実に増えつづけ、市民の協力により計画より四年も早めて百万本植樹を達成することができました。市では同運動が策定されると同時に市役所の機構の中に同事業を担当するセクションとして公園緑地課を新設。さらに市民ぐるみで推進をはかるため五十年には各種市民団体で組織する「奈良市を緑いっぱいにする会」が発足しました。この年から各家庭に対して苗木の無償交付や赤ちゃんの誕生記念樹、新築記念樹の交付制度が設けられたほか、山林造成事業として植林一千町歩十カ年計画がスタートしました。

昨年から毎年五月を「植樹月間」と定め、さらに五月の第二日曜日を「市民皆植樹の日」として、あらゆる機会をとらえて積極的に推進してきました。こうして今年十月に目標の百万本に達したもので、その内訳は学校・公園・街路など公共施設での植樹が三十二万六千九百十六本、無償交付した苗木で各家庭で植樹したもの五十七万八千百七十四本、誕生・新築など各種記念樹十万三百五十四本で、計百万五千四百四十四本となっています。

本号6ページ

2・3・4面　市の晴れの被表彰者紹介
5面　市政行事ニュース
6面　おしらせ記事

発行＝奈良市役所広報公聴課(奈良市二条大路南1丁目1番1号)　電話(34)1111番　〒630　毎月1日・15日発行　全戸配布　　印刷＝共同精版印刷株式会社

奈良市恒例の表彰式は、菊かおる「文化の日」の十一月三日午前九時三十分から市役所正庁でことしも盛大に挙行されます。

国家社会と奈良市政の発展につくした有功者二十二人、教育・学芸・文化・産業の発展や地域社会、住民福祉に尽くした功労者五十人、私心を捨てて陰徳を積み、また尊い人命を救助するなど、市民の模範となっている善行者十八人の計九十人に表彰状・記念品を贈り、その功績や善行を広く顕彰します。

表彰を受ける方々はつぎのとおりです。

市の表彰

有功者 22人

十二年以上農業委員会の委員にあって表彰を受けた人がその後当該職にある期間が最初の表彰該当年数を超える人（特別表彰）

鮫田　敏之　71　農業
農業委員会委員
通算24年3カ月
西大寺小坊町

十二年以上農業委員会の委員、固定資産評価審査委員会の委員の職にある人

岩崎　弘　57　建築士
固定資産評価審査委員
12年8カ月
法蓮町

澤田　巌　62　団体役員
農業委員会委員
通算12年7カ月
邑地町

教育・学芸・文化もしくは産業等の発展または社会福祉の向上について特に功績が顕著な人

慶田　八郎　58　会社役員
昭和46年7月市助役になってから6年7カ月、市政の枢機に参画、奈良・西安友好都市締結、沖縄海洋博覧会の参画、奈良・西安友好都市

近東　弘七　65　会社社長
会社経営の傍ら商工会議所の役員として観光都市奈良の発展に貢献。また市の公害対策審議会委員・教育委員として市政に尽くした功績は大きい。法蓮山添町。

河野　清晃　73　大安寺貫主
昭和35年に大文字保存会設立以来二十年近く同会副会長として、大文字送り火行事の英霊供養に奉仕。また慰霊塔公園の造営、敵味方供養碑の建立に尽力し、毎年の慰霊法要の行事にも奉仕を続けている。このほか毎年の歳末たすけ合い運動には奈良遍路会を率いて奈良キリスト教信者と共同して募金、毎年百万円内外の浄財を集め、福祉に尽くしている。大安寺町。

同友会代表幹事。佐保山町。

松本　政男　79　農業
昭和5年元大安寺村青年訓練所教練指導員となってから40年近くにわたって農業指導者として地域農業の振興、農業団体の育成に努めた。また大安寺農協組合長のとき全国的にも例のない市内十農協の大合併を実現させるなど、市の農政推進に貢献した。八条町。

末廣　徳治郎　80　無職
昭和43年4月から大宮地区万年青年クラブ副会長、同46年4月から市万年青年クラブ連合会副会長となり、現在両方とも会長を務めている。市内高齢者のよき指導者としてその組織化を進めるとともに、会員には公共への奉仕の実践を呼びかけて、市の老人福祉行政の推進に貢献した。ほかに現在下三条町自治会長。下三条町。

功労者 50人

教育・学芸・文化もしくは産業等の発展、または社会福祉の向上について功績が顕著な人

橋本　都耶子　61　無職
昭和13年教員となり、今年3月退職するまで41年1カ月にわたり、県下公立学校の国語科教師と

多田　周子　61　無職
昭和28年4月以来都跡地区遺族会婦人部長として26年8カ月にわたり、市と県の遺族会役員としても遺家族のために献身する。遺家族のよき相談相手であり、その処遇改善にも尽力して信望が厚い。現在市遺族会会計、同会婦人部副部長、県遺族会評議

その他市の公益に関し特に功績が顕著な人

石田　貴重郎　77　団体役員
自治会長
19年7カ月
登大路三番丁

西口　治　54　手芸材料商
自治会長
19年11カ月
民生児童委員・青少年補導委員・社会教育委員
大豆山町

松井　一　68　若草山管理人
鴛滝町
自治会長
19年11カ月
雑司町

林　健蔵　53　医師
自治会長
20年2カ月
奥芝町

河合　和一郎　66　樫木商
民生委員
25年5カ月
今小路町

十年以上自治会長の職にある人

頭鬼　登　49　国鉄職員
自治会長
9年7カ月
昭和45年5月～現在
神殿栄町

東田　昇　56　会社役員
自治会長
9年10カ月
昭和45年2月～現在
藤原町

上村　増太郎　75　無職
昭和30年3月から疋田町自治会長14年6カ月、その間伏見地区自治連合会長、市自治連合会副会長をつとめて地域社会の向上に尽くしたほか民生児童委員、伏見地区社会福祉協議会長として社会福祉に献身、現在疋田町万年青年クラブ会長。疋田町。

奥田　博通　53　建具商
昭和22年1月市警防団に入団、翌年市消防団春日分団員となり、班長、部長を経て現在同分団長。通算32年11カ月、旺盛な奉仕精神のもとよく部下を掌握し団員の信頼もまた厚い。下清水町。

紺家　稔　58　団体役員
昭和32年12月奈良市職員となり、水道局総務課・保険課・教委総務課各課長、水道局次長、社会福祉事務所長を歴任して14年7カ月。続いて水道事業管理者を3年2カ月、昭和50年8月から市収入役一期を務めた。市政の中軸にあって精励格勤、市政の発展に大きく寄与した。登美ヶ丘四丁目。

巽　政次　68　無職
自治会長
通算11年1カ月
昭和29年1月～38年5月
昭和53年4月～現在
能登川町

坂井　茂　66　製材業
自治会長
9年8カ月
昭和45年4月～現在
南京終二丁目

小山　嘉一　55　農業
昭和28年6月、市消防団白毫寺分団員となり、班長、副分団長を経て現在分団長。通算26年6カ月、旺盛なる奉仕精神で郷土の防災活動に従い、団員の信頼も厚い。白毫寺町。

森本　辰雄　58　製靴販売業
昭和21年6月、当時の辰市村警防団に入団し一時退団、同39年4月市消防団に入り副分団長を経て現在分団長。通算20年11カ月、旺盛な奉仕精神で地域防災に献身し、団員の信望も厚い。興福院町。

大西　芳秋　57　無職
昭和13年9月市職員となって同53年10月退職するまで実に40年2カ月、その間宅地造成課・市民課・秘書課・財政課各課長、議会事務局長の要職を歴任。常に精励格勤、市の行政に貢献した。百楽園二丁目。

★
★★
★★
★

松山　奈良吉　81　歯科医師
市の乳幼児・学童の虫歯予防のフッ素塗布事業に15年、乳幼児歯科検診をはじめ各種歯科検診に15年以上、また肢体不自由児の歯科訪問検診に5年以上それぞれ協力し市民の歯科衛生向上に貢献。高御門町。

氏名下の洋数字は十一月三日現在の年齢、以下職業、表彰事績の順。

大北　慶二　51　会社員
昭和39年4月市消防団伏見分団員となって現在まで15年8カ月、郷土防災の重責を果たしている。同分団部長。西大寺芝町一丁目。

今里　昇　47　農業
昭和31年6月市消防団東市分団員となって現在まで23年7カ月、地域防災の重任を果たしている。八島町。

植田　孝男　46　鮮魚商
昭和34年6月市消防団入団以来20年6カ月、郷土防災の重責を遂行している。現在は本団班長。川之上突抜南方町。

梅木　輝男　46　農業
昭和28年6月市消防団白毫寺分団員となって現在まで26年6カ月、地域防災の重責に任じている。高砂町。

このような人々を表彰します

市の表彰は奈良市表彰条例に基づいて行なわれるもので、昭和三十三年に制定され毎年「文化の日」を中心に表彰式を挙行してきました。

【有功者】元市長や8年以上の議会議員、助役、収入役。12年以上の各種行政委員会委員など、主に市の公職にあって功績のあった人々、教育、学芸、文化もしくは産業等の発展、社会福祉の向上に功績のあった人。

【功労者】10年以上の自治会長、民生委員や教育、文化、産業、観光、社会福祉、有益な研究、発明をした人々と15年以上の市職員、消防団、水防団などの勤続者で功績顕著な人々。

【善行者】市の公益のため多額の私財を寄付した人、人命救助、災害時に被害を最少限に食いとめた人のほか、善行や業務精励で市民の模範となる人。

奥田　敷雄　57　無職
市職員として昨年8月退職するまで26年10カ月勤続、中消防署長補佐、西消防署長を歴任。右京四丁目。

藤本　愛男　56　無職
市職員として今年2月退職するまで21年6カ月勤続、庶務課長補佐、都市開発部主幹を歴任。下狭川町。

辻井　章男　56　無職
市職員として今年4月退職するまで29年間勤続、社会教育課長補佐、企画室主査、観光商工課長補佐、教育委員会事務局主幹、中央公民館主幹を歴任。天理市南六条町。

仲井　明治　56　無職
市職員として今年7月退職するまで22年4カ月勤続、建築課・庁舎建設事務所工事課両課長補佐、建設部・都市開発部・学校建設公社各主幹を歴任。京都府相楽郡笠置町。

辻本　俊雄　53　無職

市の表彰にかがやく人々

枢機に参画、奈良・西安友好都市締結、鴻ノ池運動公園の各種運動施設の充実、新市庁舎の建設などに大きく貢献した。昭和50年2月財団法人市武道振興会の発足と同時にその理事長を兼任、各種武道の振興に尽くした。佐紀町。

鞍田　源一　70　無職

昭和20年4月から県軟式野球協会委員長（11年間）同31年4月から県軟式野球連盟副会長（10年3カ月）として県下軟式野球の普及振興の中心軸となり、戦後から野球愛好家の組織づくりに情熱を傾け、市内はじめ全県下四百チームに及ぶ軟式野球連盟をつくりあげた。現在市体育協会常任理事、市スポーツ少年団本部特別委員、市スポーツ青年団本部運営委員、市軟式野球・県軟式野球両連盟理事長。南京終町。

伊丹　徳三郎　70　自営業

戦後の混乱期に際し社会の浄化と青少年の健全育成を図るためスポーツの振興を提唱、市体育協会の結成に奔走し、昭和21年4月同協会理事長となってから常任理事・副会長などを歴任しながら市体協一すじに33年間尽くして現在は同協会会長。大正13年奈良庭球クラブ（市軟式庭球協会の前身）結成以来55年にわたるスポーツの指導者で、今日市の体育の盛況はその熱意に負うところが大きい。現在ほかに市スポーツ少年団本部長、市勤労スポーツ青年団本部委員、市スポーツ振興審議会会長。北半田中町。

杉山　嘉一　65　会社社長

会社経営の傍ら、昭和24年5月以来30年にわたり奈良商工会議所の議員あるいは役員として観光都市奈良の発展に尽くし、また経済人としても地区産業の振興に大きく寄与。現在奈良商工会議所監事・常議員、奈良経済

して学校教育に尽くした。若くして文学に親しみ、学生時代は同人誌に参加、昭和23年奈良市の中学に移ってから余暇を利用して「生徒と教師」「戦後の女の生き方」をテーマに著作活動に入った。昨年半生の集大成として出版した作品集「朝鮮あさがお」が平林たい子文学賞を受賞。郷土の文学愛好家に希望の灯を点じた。浄言寺町。

奥田　キン　74　茶華道教師

昭和5年5月茶華道師範となり雅号を銀翠と称して茶華道による子女の徳育、情操の育成、茶華道の普及と振興に努める。市立勤労青少年ホーム、同青少年児童会館、南都銀行観光ウインドーなどに生花奉仕をつづけ、市の観光施策に協力した。現在市茶華道連盟理事、県華道会理事。法蓮北二丁目。

青田　藤七郎　70　貸家業

昭和23年11月、寧楽美術館に美術研究所を設け、併せて寧楽美術館見学会を結成してみずから幹事長となる。毎月一回、市内の文化財の見学会を実施、その研究をつづけて30年9カ月一回も休まなかった。現在会員百八十人。文化財の再認識と啓発に寄与したところは大きい。中清水町。

安田　安吉　82　無職

昭和34年2月、帯解地区遺族会長となって20年10カ月の間、遺家族の実情をよくつかみ、よき相談相手となって遺家族の待遇改善に献身した。現在は市遺族会監事も。帯解本町。

員。四条大路五丁目。

阪本　奈良次　70　木工芸職

若くして木工芸の道に入り51年8カ月の長きにわたってこの道一すじに傾倒、曲斉と号して正倉院木工品の修理修復、宝物類の模造に従事するほか東大寺、薬師寺、唐招提寺、春日大社等の木工芸品修理など数えきれない。常に技術の研究開発に努め、伝統の奈良木工芸の伝承に残した功績は大きい。川上町。

神箸　和男　50　飲食業

今年7月まで16年余にわたって市観光協会常任理事、同副会長をつとめて観光都市奈良の発展に貢献。また市飲食商業組合長（16年2カ月）県飲食商業組合理事長（5年2カ月）としても業界振興に尽くした。春日野町。

梅田　富蔵　69　無職

関西吟詩同好会会員として昭和15年以来39年9カ月にわたって吟詩の道に精進、菖富と号して、所属の菖菖会代表として市の福祉事業に五十万円を寄付するなど福祉施策にも協力した。西大寺北一丁目。

矢野　弘　53　会社役員

昭和35年奈良大文字保存会設立と同時に同会副会長となって19年4カ月、大文字送り火のめざす英霊供養に奉仕、また伝統行事である奈良薪能、春日若宮おん祭、お水取り行事等の保存、振興など国際文化観光都市奈良の発展に尽くした。多聞町。

古川　檜雄　54　建設業

自治会長 9年10カ月　昭和45年3月～現在　横井町四丁目

藤本　庄司　58　建設業

自治会長 9年11カ月　昭和45年1月～現在　古市町三丁目

鮫田　敏彦　57　会社員

自治会長 9年8カ月　（西大寺北町三・四丁目）昭和45年4月～現在　西大寺北町三丁目

峰内　末人　73　会社員

自治会長 9年11カ月　（若葉台四・五丁目）昭和45年1月～現在　若葉台四丁目

山岡　義雄　73　無職

自治会長 9年8カ月　昭和45年4月～現在　西大寺新田町

南本　留次郎　71　農業

自治会長 9年8カ月　昭和45年4月～現在　山陵町

八尾　金一　69　旋盤業

自治会長 9年11カ月　昭和45年1月～現在　鍋屋町

森本　隆　39　会社役員

自治会長 9年8カ月　昭和45年4月～現在　南京終三丁目

東谷　保夫　65　団体職員

自治会長 9年8カ月　昭和45年4月～現在　中天満町

木村　一夫　78　会社社長

自治会長 9年9カ月　昭和45年3月～現在　南市町

平田　清一郎　73　会社社長

自治会長 通算10年11カ月　昭和37年1月以来　北風呂町

十年以上民生委員の職にある人

中澤　正雄　75　東大寺奉仕職員

通算15年2カ月　昭和19年3月～23年6月　昭和43年12月～現在　山村町

大空　綾子　68　無職

9年11カ月　昭和45年1月～現在　西大寺竜王町二丁目

その他表彰することが適当と認められる人

福丸　稔一　57　医師

市の各種予防接種業務に20年、休日夜間応急診療に10年、それぞれ協力し市民の予防衛生と健康増進に貢献。高天市町。

原田　三男　53　医師

市の各種予防接種業務に20年、休日夜間応急診療に10年、それぞれ協力し市民の予防衛生と健康増進に貢献。紀寺町。

金田　伊一　53　医師

市の各種予防接種業務に20年、休日夜間応急診療に10年、それぞれ協力し市民の予防衛生と健康増進に貢献。南市町。

吉川　太門　50　医師

市の各種予防接種業務に20年、休日夜間応急診療に10年、それぞれ協力し市民の予防衛生と健康増進に貢献。柴屋町。

東浦　勉　54　歯科医師

市の乳幼児・学童の虫歯予防のフッ素塗布事業に15年、乳幼児歯科検診をはじめ各種歯科検診に15年以上、また肢体不自由児の歯科訪問検診に5年以上それぞれ協力し市民の歯科衛生向上に貢献。小川町。

小梨　昌　73　歯科医師

市の乳幼児・学童の虫歯予防のフッ素塗布事業に15年、乳幼児歯科検診をはじめ各種歯科検診に15年以上、また肢体不自由児の歯科訪問検診に5年以上それぞれ協力し市民の歯科衛生向上に貢献。呉竹町。

十五年以上市の職員または消防団の団員として勤続し特に功績顕著な人

川辻　富雄　51　農業

昭和25年11月市消防団若草分団員となって現在まで29年1カ月、地域防災の重任に当っている。法蓮北二丁目。

久後　裕亮　45　飲食店経営

昭和37年4月市消防団春日分団員となって現在まで17年8カ月、郷土防災の重責に任じている。現在分団班長。鶴福院町。

上己　哲　42　農業

昭和29年4月旧大柳生村消防団に入団して3年5カ月、のち同40年8月市消防団大柳生分団員となり今日まで通算17年9カ月、分団班長、部長を歴任して郷土防災の第一線に立っている。大平尾町。

永井　幸次　38　郵便局員

昭和40年5月市消防団狭川分団員となって現在まで14年7カ月、郷土防災に献身している。分団部長を経て現在副分団長。狭川両町。

吉岡　一　51　会社員

市職員として今年3月退職するまで28年8カ月勤続、水道局経理課長補佐、同課長、同企画室長、同総務課長、同次長、同業務部長を歴任。十輪院町。

原田　博　56　無職

市職員として今年4月退職するまで29年間勤続、水道局給水課長補佐、同給水課長、下水処理場長、下水道課長のあと水道局で主幹、浄水場長、管理課長、局次長、給水部長を歴任。天理市南六条町北方。

在の年齢、以下職業、表彰事績の概要、現住所の順。表彰該当年数は六カ月以上を一年に切り上げ。敬称は省略。順序不同。

善行者　18人

市の公益のため多額の私財を寄付した人

垣内　成元　41　会社役員

昭和53年11月、福祉事業資金に浄財二百万円を寄付、市の福祉行政推進に寄与した。大宮町一丁目。

稲村　穣一　50　会社社長

昭和52年9月から市の福祉施設用に三回、ごくろうさん・早寝早起き運動実践大会用に三回、自社製品（石けん・シャンプー）計二百万円相当分を寄付、市の行政推進に寄与した。花芝町。

辻本　俊雄　53　無職

市職員として今年7月退職するまで31年10カ月勤続、都市計画課長補佐、援護年金・清掃・宅地造成各課長、企画部・社会福祉事務所両主幹を歴任。南京終西町。

外山　保夫　56　奈良市嘱託

市職員として昨年12月退職するまで17年10カ月勤続、水道局工務課・同施設課・同管理課・下水道課各課長補佐、都市開発部主幹を歴任。磯城郡田原本町。

青木　順一　56　無職

市職員として今年7月退職するまで29年9カ月勤続、奈良球場主査。法蓮北町。

以下第四面につづく

市の表彰にかがやく人々

善行者

陳　長居　75　会社社長

昭和54年5月、日中友好を喜び福祉事業資金にと浄財百六十九万六千五百円を寄付、市の福祉行政推進に寄与した。大宮町一丁目。

高井　高継　58　医師

昭和53年11月、福祉事業資金にと浄財百万円を寄付、市の福祉行政推進に寄与した。油阪町一丁目。

並川　清一　54　医師

昭和54年4月、緑化推進事業にと浄財百万円を寄付、市の緑化事業に寄与した。高畑東大路町。

福村　富佐子　37　無職

昭和54年8月、亡夫供養のため社会福祉と富雄中学校に各五十万円を寄付。市の福祉・教育行政推進に寄与した。雑司町。

西川　四郎　66　著述業

昭和53年11月、福祉事業資金にと浄財百万円を寄付、市の福祉行政推進に寄与した。神功一丁目。

三浦　喜三九　60　会社役員

昭和53年12月、都市公園整備事業推進に寄与した。学園大和町三丁目。

廣澤　俊彦　46　会社役員

昭和53年4月、亡母供養のため福祉事業資金にと浄財八十五万円を寄付。市の福祉行政推進に寄与した。尼辻町。

森本　義治　63　会社社長

昭和54年4月、福祉事業資金にと浄財八十万円を寄付。市の福祉行政推進に寄与した。肘塚南方町。

内田　重森　70　僧職

去る十月七日死去した義父で県下男性の最高齢者西林金作さんの供養のため同月二十日福祉事業資金に浄財五十万円を寄付。市の福祉行政推進に寄与した。雑司町。

北岡　豊和　33　会社員

昭和53年12月、亡父供養のため老人福祉事業資金にと浄財五十万円を寄付。市の福祉行政推進に寄与した。法蓮山添中町。

刀根　宗次　72　無職

昭和53年11月、亡息供養のため福祉事業資金にと浄財五十万円を寄付。市の福祉行政推進に寄与した。南半田東町。

自分の危難をかえりみないで人命を救助した人

上田　ゆり　29　無職

今年3月27日午後2時45分ごろ市内六条町の新池付近で遊んでいた市内離宮ケ丘町の岡部高君（3歳）が誤って池に落ち、おぼれそうになっているのを見つけ、自分の危険をおかして助けあげ、人工呼吸を施して救助した。離宮ケ丘町。

善行が著しく市民の模範となる人

林　ノブエ　50　和菓子製造業

昭和23年に市視力障害者協会が設立されて以来今日まで31年間、日夜同協会の事務処理を援助し、視力障害者の手となり足となって献身的に奉仕してきた。自他同転の福祉をめざす奈良市にはまことにふさわしい行為である。東包永町。

井上　弘　52　クリーニング業

昭和51年から老人や身障者の福祉に奉仕したいと考え老春の家、みどりの家、和楽園など福祉施設の衣類・ふとんカバーなどのクリーニングを無料奉仕、また年末には同施設のカーテン・ジュータンなども無料でクリーニング奉仕するなど、市の福祉行政推進に協力した。今市町。

田中　政信　64　無職

昭和45年10月、市肢体障害者協会の設立と同時に理事に就任、身障者福祉のために献身してきた。右大腿骨折・左尺骨脱臼骨折の身障の身でありながら率先して各種福祉行事に参加、身障者の自立更生に範を示した。また今日まで10年間、市内の高齢者に自分で絵筆を揮った肖像画を贈るなど、自他同転の福祉をめざす奈良市にはふさわしい人材である。敷島町二丁目。

山崎　義雄　63　会社重役

戦後間もないころから私財を投じて町内の戦没者遺家族に励ましの慰問を続け、また町内高齢者へはは着や履き物を贈って慰問。昭和42年自治会長になってから町内集会所の建設に努力、密集地域の火災予防にも尽力している。福祉・防災活動を含め地域社会の発展に貢献するところが大きい。中辻南方町。

国民年金

保険料未納者に最後のチャンス

資格回復に特例納付

拠出制の老齢年金（他の公的年金制度に加入していない人が国民年金に加入して受ける老齢年金）は普通六十五歳から受給できますが、それには六十歳までに一定期間（別表）の保険料を納めていなければなりません。国民年金に加入すべき人（明治四十四年四月二日以後の出生者で農業・商業・自営業者などの強制加入対象者）で加入していない人とか保険料を納める期間が不足している人は将来年金が受けられません。

このような人のために、たびたびお知らせしたように、昭和五十三年七月一日から昭和五十五年六月三十日までの二年間に限り、特別に一カ月四千円の割で保険料を納め、年金受給の資格を回復する特別納付制度が実施されています。まだ加入されていない人や保険料納付期間不足の人はぜひこの特例実施の機会に市国民年金課へ加入もしくは特例納付の手続きをしてください。ただし、この特典は強制加入者に限られ、他の公的年金加入者の配偶者など任意加入者には適用されません。

また、この制度にともなう特例納付の保険料は相当多額となりますので、県社会福祉協議会では、市・県民税の所得割が課せられていない人で、特例納付保険料の半額までについて不足する人には、世帯更生資金貸付制度要綱に基づく福祉資金から資金の貸し付けを今年十月一日から来年五月三十一日まで受け付けています。

くわしいことは市社会福祉協議会（二条大路南一丁目、☎(34)一一一一）で相談してください。

老齢年金を受けるのに必要な加入期間

生年月日	必要期間
大5年4月1日以前	10年
大5年4月2日～大6年4月1日	11年
大6年4月2日～大7年4月1日	12年
大7年4月2日～大8年4月1日	13年
大8年4月2日～大9年4月1日	14年
大9年4月2日～大10年4月1日	15年
大10年4月2日～大11年4月1日	16年
大11年4月2日～大12年4月1日	17年
大12年4月2日～大13年4月1日	18年
大13年4月2日～大14年4月1日	19年
大14年4月2日～大15年4月1日	20年
大15年4月2日～昭2年4月1日	21年
昭2年4月2日～昭3年4月1日	22年
昭3年4月2日～昭4年4月1日	23年
昭4年4月2日～昭5年4月1日	24年
昭5年4月2日以後	25年

県下の最低賃金改正される

奈良県内の労働者の最低賃金を保障する産業別（一部）と地域別の最低賃金がこのほど別表のように改正されました。

これによると県内の事業所で働く労働者には、十月十八日から精皆勤・家族・通勤各手当や賞与・期末手当、時間外・休日・深夜労働に対する割増賃金などを除き、日額二千五百三円、時間給三百十三円の地域別最低賃金が適用されています。

また、この地域別賃金とは別に産業別最低賃金や最低工賃も改定され、食料品製造、出版・印刷・同関連は別表のようにきまり、その他の業種については今年中に決められます。

最低賃金の決定方式には労働協約方式と審議会方式の二つがあり、こんど改正された最低賃金審議会が経営事情、労働条件、賃金実態などについて調査し、審議した結果をもとに労働基準局長が決めたものです。くわしいことは奈良労働基準局賃金課（登大路町、☎(24)一一五一）へ。

	最低賃金件名	区分	最低賃金額 日額	最低賃金額 時間給
地域別	奈良県最低賃金		円 2,503	円 313
産業別	食料品製造業		2,868	359
		軽作業	2,633	330
	出版・印刷・同関連産業		2,801	351

友好・姉妹都市の児童・生徒交換作品展

27日～29日　県文化会館

奈良市友好・姉妹都市児童・生徒交換作品展が十一月二十七日（午後一時開場）～二十九日（午後三時閉場）の三日間、県文化会館で開かれます。

この作品展は市と友好・姉妹都市関係を結んでいる国外の中国・西安、スペイン・トレド、韓国・慶州各市と国内の姉妹都市福井県小浜、福島県郡山両市の児童・生徒との交換作品で、絵画や書などを中心に約六百点が展示され、国際理解と友好親善をさらに深めようとするものです。

合同行政相談に42件

奈良行政監察局と奈良市共催の一日合同行政相談が十月十九日、市内西大寺東町奈良ファミリーで開かれました。

国や県・市などが行なっている仕事で、納得できないことや困っていること、わからないことなどについて各行政機関が一堂に集まって相談を受けるもので、今年で十回目。奈良の女王の浦久保幸代さん（誓多林町）を一日所長に迎え、各機関が騒音や道路交通、税など計四十二件の相談を受けました。さまざまの相談に対して参加十三機関の職員がスピーディに処理しました。

お年玉つき年賀はがき

5日発売

昭和五十五年新年用お年玉つき年賀はがきが十一月五日から発売されます。発売枚数は二十七億五千万枚で、このうち五億枚は一円の寄付金つき年賀はがきです。

この寄付金は社会福祉の増進を目的とする事業団体、風水害や震災など非常災害による被災者の救助を行なう団体、がん・結核・小児マヒなど特殊な疾病の学術的研究と治療を行なう団体、原爆被爆者の治療や援助を行なう団体、交通事故や水難に際して人命の応急的な救助を行なう団体の事業の実施に必要な費用に充てられます。

＝郵政省

新着図書　市立図書館

（カッコ内は著者）

小さな庭師のための大きな本（フォーゲル）▽クジラがクジラになったわけ（ヒューズ）▽ゆうれいがいなかったころ（岩本敏男）▽白ネコのぼうけん旅行（ディヤング）▽写真集蒸気機関車▽世界浮世絵草紙（畑田国男）▽一億不衛生物語（吉岡修一郎）▽市民のための地方都市（星野光男）▽横浜事件の人びと（中村智子）▽兄貴として伝えたいこと（岡村昭彦）▽書かれた法律と生きた法律（横田喜三郎）▽文字とコンピューター（佐藤道男）▽たばこの本棚（開高健）▽世界中がピーター・パン（小林正典）▽電車で四十分（中山千夏）▽ふたつの文化の間で（広中和歌子）▽わが青春の宝塚（葦原邦子）▽わが今昔ものがたり（中里恒子）▽女茶わん（佐多稲子）▽光はるかに（三浦朱門）▽中年この魅惑の日々（秋山和歩）▽異文化のはざまで（中津燎子）▽国籍（山本敬三）▽暮らしの京ことば（寿岳章子）▽技術を考える十三章（中岡哲郎）▽手作りの楽器を作ろう（芸術教育研究所）▽モルモットからきた手紙（ガリコ）▽いきものくらべ（キーツ）▽スピードの世界（ラトランド）▽魚の知恵（安田富士郎）▽ネズミのよめいり（加藤正民）▽空想工房（安野光雅）▽イワナ・ヤマメ・アユ（桜井淳史）▽ろうそく物語（ファラデー）▽悪魔の銀のサイコロ（国際平和教育研究会）

他人のめいわくになる青空駐車はやめましょう

田原地区 農家に民宿
「みそづくり」も習う

「みそづくり」を実習する西安市の農業視察団員

西安市農業友好視察団 研修成果みやげに帰国

市の友好都市中国・西安市の農業友好視察団（許福才団長、一行十一人）は、十月二日の来日以来、奈良県を中心に日本各地で機械を利用した農業生産技術の研究と農業経営管理など各方面にわたって精力的に学習し、その成果をみやげに二十六日帰国しました。

この間視察団は阿部仲麻呂慰霊祭に参列したほか県農業試験場各種施設、和歌山県粉河町ハッサク園、大宇陀町家畜試験場、都祁村育苗センター、大阿田ナシ園、五条市開発団地、同カキ生産団地、和歌山県有田ミカン生産団地などで見学・研修を重ね、十七日再び奈良市へ。

同日視察団一行は大宮みそ会館で市の「五徳みそ」づくりの講習を受けました。講習を前に許団長は「われわれは農業の専門家ですが、みそづくりは小学生です。よろしくご指導ください」とあいさつ。十一人の全団員は、上着を脱ぎ、腕まくりして市内婦人代表五人の協力で講習指導員の指導でみそづくりに取り組み、大豆つぶし、こうじと混ぜ合わせるなど汗びっしょり、一人十㌔のみそを仕込みました。

同日午後には田原地区に入り、同地区の小中学生や住民ら約五百人の歓迎を受けて田原中学校体育館での歓迎会へ。許団長は「田原での農業実習を中国の四つの現代化の大きな助けとしたい」とあいさつして、紅梅を描いた掛軸をプレゼント、田原側からは、田原の土を使って焼いた花ビンが団員一人一人に手渡されました。続いて小学生たちのかわいい遊戯や田原に伝わる婦人たちの茶つみ踊りを見てくつろぎました。

このあと団員たちは三班に分かれ、大東功さん（矢田原町）、大谷勝一さん（誓多林町）、勝坂俊男さん（水間町）の三農家に迎えられて二泊三日を寝食を共にしました。心づくしの家庭料理に舌つづみをうち「わが家に帰ったような気持ち」になり、近所の人たちもいっしょに日本酒で「カンパイ」。ことばの不自由を乗り越え「土」を通じて心のふれあいを深めました。受け入れた農家の人も「最初は戸まどいもあったが、気さくな人たちばかりで家族のようにつきあえました」と話していました。

十八日には台風二十号の影響で風雨が強かったが、その中を、しいたけの植菌・乾燥作業場や栽培場、誓多林町にあるライスセンターなどで実習作業し、十九日には田原公民館で地元の婦人と共にまたみそづくりを実習、杏掛町の共同製茶工場で製茶作業にはげみました。田原地区でのスキンシップによる体験研修を終えた一行は午後四時、住民多数の名残惜しげな見送りを受けて、なつかしい田原の地をあとにしました。

このあと一行は京都市のつけ物工場、静岡県浜松市の土地改良区、愛知県豊橋市の園芸団地、長野県須坂市のリンゴ・ブドウ生産団地、兵庫県高砂市のしょうゆ工場を精力的に見学。二十六日午後、鍵田市長を市役所に訪ね、お別れのあいさつをして実り多い二十五日間の視察研修を終え、無事帰国しました。

□□□

玉入れに興ずる六年生

6年生思い出の 体育大会
秋晴れに4,231人

市内の小学校六年生が演技を競いながら学校間の交流を深めようと、第二十回小学校体育大会が十月十六日鴻ノ池運動公園で開かれ、市内三十二校の六年生四千二百三十一人が参加。

全員で合同体操のあと、学校別に四組に分かれ、学校グループ対抗でリレー、ハードル、綱引きなど九種目に赤トンボの飛び交う秋空のもとで仲よく熱戦をくりひろげました。

はじめは学校ごとにかたまっていた子どもたちも、演技が進むにつれて入り混じり、なごやかなふん囲気。十番目のダンス演技では、全員が参加して最後の盛り上がりを見せ、来春の卒業を控えて思い出の一日を仲間とともに力いっぱいがんばっていました。

老人福祉に 50万円を寄付
故西林翁の遺族

鍵田市長に寄付の浄財を手渡す内田夫妻

県下の男性での最高齢者（市内最高齢者）であった西林金作さん（183歳、雑司町）が、去る十月七日死去されましたが、その娘婿の内田恵重師と真照さん夫婦が十月二十日奈良市役所を訪れ「老人福祉にお使い下さい」と五十万円を寄付、鍵田市長に手渡しました。

防犯運動の初 日にパレード

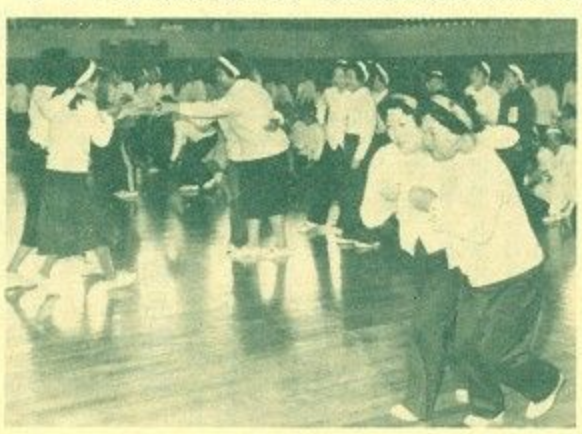
ことしの全国防犯運動は、重点目標を「空き巣と自転車盗難の防止」と定め、十月十一日から二十日までの十日間、全国いっせいにくりひろげられました。

奈良市内では初日の十一日、奈良防犯協議会（会長・鍵田忠三郎市長）主催の防犯パレードが国鉄奈良駅前―三条通り―小西通り―近鉄奈良駅前と行進。鍵田市長、岡田清三郎市議会議長、駒谷奈良警察署長をはじめ二十八関係団体から約六百人が参加しました。

行進に先だち鍵田市長は「為せば成るの精神で、カギをかけないでも防犯の実があがるような犯罪のない明るいまちを目ざしたい」とあいさつを述べました。

県警音楽隊を先頭にしたパレードでは、マンガで人気者の動物のぬいぐるみも登場、道行く人に鉛筆や花の種をくばり、防犯の徹底を呼びかけました。

ママさん・・・・ハッスル
市地婦連体育大会


全員で入念に準備体操をしてから、玉入れや障害物競走など十二種目の競技に童心にかえって楽しみました。＝写真は元気に「あっと、キッスはごめん」のゲームに興じるご婦人たち

市教育委員会と市地域婦人団体連絡協議会（地婦連）の共催で第八回「市地婦連体育大会」が十月二十五日市中央体育館で開かれました。

この体育大会は婦人の体力づくりと会員の親ぼくをはかるために開かれるもので、市内の二十地区から約七百人が参加しました。杉本玉子会長のあいさつのあと、飛鳥地区の桐山清子さんが選手宣誓。

奈良阪町の集会所完成
市の事業還元事業

市の奈良阪開発事業にともなう奈良阪町への還元事業の一つとして、同町の集会所が完成し、十月十二日に集会所で開所式が行なわれました。

この集会所は五百五十平方㍍の敷地に鉄筋コンクリート造り二階建て、一階には会議室にもなる料理実習室、二階には四十五畳敷の集会室などがあり、総工費は三千七百七十五万円。

このほか奈良阪町に対する還元事業としては児童公園が完成、さらに奈良豆比古神社収蔵庫の建設があります。

ふくいく六五四鉢
平城宮跡菊花大会

＝写真は咲きほこる菊花に見入る観覧者

市と県菊花連盟共催の第九回「平城宮跡菊花大会」が十月二十三日から市役所玄関前広場ではじまりました。菊は千二百余年前、遣唐使によって中国からもたらされたといわれ、奈良はいわば日本菊発祥の地で、菊花大会はこれを記念して開かれているものです。

久保利夫同連盟会長は「今年は夏の気温が高すぎたという栽培上の悪条件にもかかわらず、全般に立派な作品が多く、技術的には一段と進歩している」と話していました。

よしず張りの特設会場には八十四花壇、六百五十四鉢の菊の花がふくいくたる香りをただよわせ、市役所を訪れる人々を楽しませています。

同展は十一月八日審査、同月二十四日まで開かれます。

ご老人喜ぶ
八日会が和楽園を慰問

社会奉仕にとり組む人たちで組織する八日会（野長瀬浩会長、会員五十三人）は十月十八日、紀寺南方町の老人養護施設「和楽園」を慰問。奇術や演芸を披露してお年寄りたちを喜ばせました。

講堂に集まったお年寄りたちは、舞台にくりひろげられるマジックショーや三味線演奏にさかんに拍手を送り、中でも可愛い子どもたちの日舞には大喜び、目を細めて見入っていました。

八日会は地域の福祉厚生、交通安全・公害防止、商工業の振興の三つを柱として社会事業に奉仕、このほかあらゆる相談ごとにも応じています。＝写真はその慰問ぶり

特選に十二人
「家庭の日」ポスター

市青少年問題協議会が小中学生から募集していた毎月第三日曜日の「家庭の日」のポスターは、小学生から三百四十四点、中学生から百四十一点、計四百八十五点の応募があり、審査の結果つぎの方々が特選になりました。（敬称略）

【小学生】一位＝植田圭子（あやめ池六年）▽二位＝浦由希子（柳生一年）和久教子（都跡二年）▽三位＝吉田知未（平城西四年）木場かおり（富雄北五年）小林史子（二名六年）

【中学生】一位＝中田美千代（伏見二年）▽二位＝清田地香（富雄一年）北浦久実（伏見二年）▽三位＝彦坂和美（若草二年）大下孝（二名三年）大東輝子（同三年）

市役所の住所が11月1日から次のように変わりました。
二条大路南1丁目1番1号

五徳たくあん漬

お正月用に希望家庭へおわけします

申し込みは10日～20日

自然食品の普及につとめている市では、ことしも「五徳たくあん」を年末に家庭用としておわけすることになりました。用意したのは十㌔入り三千タルで、価格は前年すえ置きの一タル千八百円（現品と引換え払い）。購入希望者はつぎの要領で申し込んでください。

◇共同購入＝一世帯一タルで十タル以上の共同購入方式。

◇小口購入＝個人または一グループ十タル以下の申し込み。つぎの指定場所でお渡しします。

市農業協同組合奈良支所（三条本町、市内循環大森町バス停前）▽市農業協同組合平城支所（秋篠町）▽市西部みそ会館（学園北二丁目）

◇申し込み＝小口申し込みは往復はがきに住所・氏名・電話番号・指定受取り場所名。また共同購入の場合は往復はがきに代表者名と申し込み者全員の住所・氏名・電話番号を書いて、いずれも十一月十日～同二十日（消印有効）に市農業協同組合平城支所「五徳たくあん」受付係（秋篠町一二四一）へ。＝別記記入要領参照。申し込みが三千タルを超えた時は公開抽選。

◇引き渡し＝十二月十五日～同二十五日、共同購入分だけ代表者宅へ配達。

なお五十四年度配布分の空ダルは五十五年三月一日～同三月二十五日に市大宮みそ会館と西部みそ会館で買い取る予定です。くわしいことは市農協（☎㊹四六二一）か市生活安定課（☎㊹一一一一）へ問い合わせてください。

（往復はがきで）

（共同申し込みの場合）
申し込み者名
（代表者名）
1住所・氏名・電話番号
2以下申し込み者全員の住所・氏名・電話番号

（小口申し込みの場合）
申し込み者住所・氏名・電話番号
受取場所
（例・市農協奈良支所）

健康メモ

◉こどもには戸外で運動を

最近の若者は姿勢が悪く、体力が弱いといわれます。また小中学生には背骨が曲るせき柱側わん症がふえて問題になっています。前かがみの姿勢は内臓を圧迫し、気持ちの上でも内向的になりがちです。正しい姿勢を保つには、まず足をきたえ、背骨を支える筋肉を強くしなければなりません。

赤ちゃんはサークルや歩行器に入れないで、できるだけ多くハイハイの機会を与え、幼児は昼間から背中を丸くしてテレビを見ていることのないように、戸外での自然な遊びの中でバランスのとれた全身運動をさせましょう。また、こども達にぞうきんがけやふとんの上げおろしを手伝わせることもいいことです。大人も生活の中でどこか不便なところを作り、力を出すくふうをしましょう。

健康法の第一歩として、まず歩くことからはじめましょう。一番手軽に実行できる全身運動は歩くことです。

住民検診（終）

結核や肺ガンの早期発見、早期治療をめざして、市では8月～11月の間に結核住民検診を行なっています。みなさんの家の近くまでレントゲン車が巡回しますので、この機会にぜひ受診して下さい。レントゲン撮影は、ボタンや金具のない下着なら着たままで受けられます。ただし15歳以上の人（中学生・妊婦・勤務者は除く）に限ります。受診料はいりません。これで今年の住民検診は全市域を終わります。

地区	月・日	時間	場所
富雄	11.20（火）	9:30～10:00	富雄泉ケ丘泉屋酒店前
		10:10～10:40	富雄泉ケ丘牛島新聞直売所前
		10:50～11:20	富雄中町農協前
		1:20～ 2:00	千代ケ丘1丁目田賀外男氏宅前
		2:10～ 2:50	千代ケ丘1丁目滝野医院前
		3:00～ 3:50	千代ケ丘2丁目大倭瀧の峰荘前
	11.21（水）	9:30～10:00	千代ケ丘3丁目前枝氏宅前
		10:00～10:40	藤ノ木台3丁目ロケット公園南側
		10:50～11:20	藤ノ木台3丁目中央公園北側
		1:30～ 2:00	藤ノ木台4丁目伊熊歯科前
		2:10～ 2:40	菅野台保坂博通氏宅前
		2:50～ 3:20	中町東阪公民館前
	11.22（木）	10:00～10:30	青垣台1丁目第1公園前
		10:40～11:20	青垣台2丁目公園前
		1:30～ 2:00	石木町公民館前
		2:10～ 2:40	大和田町公民館前
		3:00～ 3:30	富雄中町辻本石材店前
伏見	11.26（月）	10:00～10:30	青野町公民館北側
		10:40～11:20	疋田町前田物産家具センター前
		1:30～ 2:10	若葉台3丁目集会所前
		2:20～ 3:00	若葉台1丁目集会所前
		3:10～ 3:50	若葉台2丁目集会所前
富雄	11.27（火）	9:30～10:10	二名町谷奥田中精米所前
		10:20～10:50	二名城ケ丘団地鵜井庄一郎氏宅前
		11:00～11:30	二名町平野平野会館前
		1:30～ 2:00	富雄北3丁目松ケ丘住宅公園前
		2:10～ 2:40	富雄北2丁目西条タバコ店前
		2:50～ 3:20	富雄北3丁目中里マンション前
	11.28（水）	9:20～10:00	富雄団地34号館西側
		10:10～10:50	鳥見町3丁目自然公園東側
		11:00～11:30	富雄三松ケ丘団地児童公園北側
		1:30～ 2:00	富雄北小学校運動場
		2:10～ 2:40	二名町三松集会所前
		2:50～ 3:20	富雄三松町山羽氏宅前
	11.29（木）	10:00～10:40	鳥見町3丁目近商ストア前
		10:50～11:20	鳥見町3丁目電々公社社宅3号前
		1:20～ 2:10	富雄団地管理事務所前
		2:20～ 2:50	富雄団地15号館西側
		3:00～ 3:30	富雄団地5号館北側
	11.30（金）	9:30～10:00	鳥見町一丁目公園北側
		10:10～10:50	鳥見町二丁目富雄公民館
		11:00～11:30	鳥見町2丁目ルーテル保育園前
		1:30～ 2:00	鳥見町1丁目高井医院前
		2:10～ 2:40	富雄中学校校庭
		2:50～ 3:20	富雄元町1丁目富雄ハイツ前
	12.3（月）	9:30～10:10	帝塚山6丁目帝塚山ガーデンハイツ1号前
		10:20～10:50	帝塚山6丁目竹下拓紀氏宅前
		11:00～11:30	帝塚山4丁目公園東側
		1:20～ 2:00	帝塚山2丁目高本俊次氏宅前
		2:10～ 2:50	帝塚山3丁目総合集会所前
		3:00～ 3:30	帝塚山1丁目カラー公園北側
	12.4（火）	9:30～10:00	帝塚山南4丁目濁池公園南側
		10:10～10:40	帝塚山南3丁目公園北側
		10:50～11:20	帝塚山南2丁目池田歯科前
		1:30～ 2:00	三碓町三碓バス停前
		2:10～ 2:40	帝塚山南1丁目岡野三郎氏宅前
		2:50～ 3:20	帝塚山南2丁目公園北側

三笠公民館

（市内大宮町二丁目、電話㊹〇五一五番）

文化祭　同公民館でこの一年間に活躍した団体・サークル・教室・学級で学習した人たちがそれぞれの成果を発表します。

とき＝十一月十七日（土）十八日（日）▽作品展示発表＝両日午前九時～午後五時。楽面、書道、押し絵、版画、生花、洋裁、絵画、アートフラワー、盆栽、組みひもなど▽芸能発表＝十八日午前十一時～午後三時半。手話コーラス、子ども紙しばい、民謡、民踊、詩吟、扇舞、琴、尺八など▽料理バザー＝両日午前十一時半～午後三時▽お茶席＝両日午前十時～午後四時。

青少年集まれ！ヤングカーニバル

25日、鴻ノ池運動公園で

市教育委員会などが国際児童年事業として「奈良ヤングカーニバル」を十一月二十五日（日）午前九時半～午後三時半に、鴻ノ池運動公園陸上競技場を中心に開きます。市内青少年団体の合同実践大会で参加できるのは市内の青少年とその保護者。申し込みや参加料は不要。直接会場へどうぞ。

メイン会場ではコンサート、のど自慢など、サブ会場にはレクリエーションやアスレチックなどの広場があり、楽しい催しがいっぱい。

16ミリ映写機整備検定と登録

市視聴覚ライブラリーでは名種の教育フィルムを貸し出していますが、最近とくに映写機の整備不良のためのフィルムの損傷がめだちます。

そこで、県や市の視聴覚ライブラリー備え付けのフィルムを利用している学校・会社・団体・事業所などの16ミリ映写機の整備検定と、備え付けフィルム使用映写機の登録をつぎのように行ないます。

とき＝十一月十二日（月）午前九時半～午後三時▽ところ＝市勤労青少年ホーム（大宮町一丁目、☎㉝〇五一六）

なお当日は16ミリ映写機登録証を持参してください。

ママさんコーラス会員募集

木葉会

ママさんコーラスの「木葉会」ではつぎのように会員を募集しています。希望者は往復はがきに住所、氏名、年齢、電話番号を書いて十一月二十一日までに三笠公民館（大宮町一丁目、☎㉝〇五一五）内木葉会へ申し込んでください。

練習日時＝毎木曜日午前十時～正午▽練習場所＝三笠公民館▽会費＝入会金千円のほか月千五百円。

軍人恩給改定の説明会

前号でお知らせしましたように、軍人恩給の加算改定の年齢が引きさげられました。市福祉第一課では県軍恩連盟市連合支部の協力で、その説明会をつぎのように開きます。年齢引きさげの対象になる六十歳～六十四歳の人はぜひ参加してください。

11月13日（火）中央公民館（東寺林町）

11月14日（水）西部公民館（学園北二丁目）

恩給証書と印鑑を持って午後一時に来てください。

北和都市連合の農産物品評会

北和都市連合協議会（奈良・大和郡山・天理・生駒の四市で結成）の農産物品評会が十一月十七・十八両日に登美ケ丘小学校（西登美ケ丘四丁目）の体育館で開かれます。

北和四市の農家の野菜、果物、茶、林産物、花木、タマゴなどの自信作約千二百点が出品されます。また十八日（日）には午後二時ごろからこれらの出品物の即売会も行なわれます。

老春の家

（市内法蓮町鶏ノ池、電話㊹三二五一番）

おどりのつどい　十一月二十五日（日）午前十時～午後三時。六十歳以上の人ならだれでも観賞できます。

年忘れ素人演芸大会出演者募集　十二月十五日開催の子定、市内在住の六十歳以上の人ならだれでも出演できます。出演希望者ははがきに出演種目、所要時間（三分以内）、住所、氏名、年齢、電話番号、人数を書いて十一月三十日までに「老春の家」へ申し込んでください。先着八十組で、当日のとび入りはできません。種目はつぎのとおりです。

踊りの部＝民踊、日舞、詩舞、剣舞▽うたの部＝民謡、歌謡曲、詩吟、小うた、長うた、浄るりなど▽その他＝漫才、漫談、浪曲など。

無料法律相談所

25日・中央公民館

立命館大学の学生法律相談部が、市社会福祉協議会の後援で、恒例の無料法律相談所をつぎのとおり開きます。日常的な隣近所のつきあいや、相続・借地・借家問題など法律に関することで悩んでいる人は、気軽におこしください。

▽とき＝十一月二十五日（日）午前十時～午後三時

▽ところ＝中央公民館（東寺林町）

立命館大学法律相談部

花の市

とき　11月11日（日）午前8時

ところ　近鉄奈良駅前行基噴水広場

近鉄学園前駅東側西部公民館南広場

児童3歳健診

つぎの校区の三歳児健康診査を奈良保健所（八軒町、☎㉓六一七一）で行ないます。

対象児は昭和五十一年四月二日～同年十月一日生まれ。受けつけはいずれも午前九時～十一時と午後一時～三時の二回。（他校区は順次掲載）

11月22日（木）都跡校区

11月29日（木）右京校区

家族計画教室

西奈良保健センター

西奈良保健センター（登美ケ丘二丁目、☎㊸五九一一）で「家族計画教室」をつぎのように開きます。受講希望者は直接または電話で同センターへ申し込んでください。

とき＝十一月二十六日（月）午後一時～三時▽定員＝女性三十人▽内容＝講義、スライドと模型による指導。

未組織労働者への融資

県庫　奈良金労働

労働組合のない企業や事業所に働く未組織労働者は、金融機関からの生活資金などの借入れが容易ではありません。このような人は、県労働者信用基金協会の信用保証によって、労働金庫から融資が受けられます。

融資の概要はつぎの通りですが、くわしいことは同協会（☎㉖七一一一）か奈良県労働金庫（☎㉖五一一一）へおたずね下さい。

	生活資金（無担保）	住宅資金（有担保）
申込資格	同一事業所に勤続1年以上	同一事業所に勤続3年以上
保証金額	30万円以内	800万円以内
保証期間	3年以内（元利均等返済）	25年以内（元利均等返済）
保証料	年0.73%	年0.5%
貸出利率	月利0.82%（年利9.84%）	月利0.81%（年利9.72%）

奈良税務署の無料税務相談　奈良税務署では、十一月十一日から十七日の「税を知る週間」にちなんで、つぎのように無料税務相談所を開設します。税金についてのいろいろの相談に税理士が応じます。

とき＝十一月十二日～十六日の毎日午前十時から午後四時▽ところ＝近鉄奈良駅地下コンコース

市民スポーツ閉放日

◎卓球＝十一月二十四日（土）午前九時～正午は自由、午後一時～四時は時間制。

【注意】クラブ活動による参加は認めません。運動ぐつは必ず持参。場内が混雑したときは時間制限します。

市中央体育館

11月15日～30日は固定資産税・都市計画税（第三期分）の納期です